

(様式1)

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県広域消防防災センター (四季防災館) 消防課

2 施設所在地
富山市惣在寺1090-1

3 施設設置年度
平成24 年度

4 設置目的
自主防災組織、防災関係者の研修、県民の防災に関する知識の普及及び防災意識の高揚を図り、もって安全で安心な地域社会の形成に資することを目的とする。

5 施設概要
鉄筋コンクリート造 3階建て
延床面積 1,001.40㎡
主な施設
・各体験施設 (地震体験、初期消火体験、風雨災害体験、流水体験、応急救護体験、地域防災活動、煙体験)
・山地災害と山岳救助コーナー
・映像視聴コーナー (津波・土砂災害体感シアター他)
・富山の四季と地形コーナー

6 指定管理者
公益財団法人富山県消防協会

7 指定期間
5 年
令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日

8 利用者数及び利用 (使用) 料金収入の状況

(1) 利用者数 (人)

H30	R1	R2	R3	R4
40,115	32,823	11,763	14,208	22,140

(2) 利用 (使用) 料金収入 (千円)

H30	R1	R2	R3	R4
—	—	—	—	—

【参考】 利用料金収入見込み額 (利用料金制導入施設の場合)

H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

利用者数は前年度(令和3年度)と比較すると増加している。引き続き感染予防対策を徹底する等より良いサービスを提供すると共に状況に応じた創意工夫を図り、利用者数の増加につながるよう努めてもらいたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

季節ごとイベントを実施し、体験した家族や子供に防災グッズや文具セットのプレゼントや防災クイズによりペーパークラフトの配布を実施した。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

他の施設とのコラボ企画の実施や観光協会の協力を得て県外で四季防災館のPRを実施した。また今年も災害体験ナイトツアーを年10回実施し防災意識の高揚を図り利用者増を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	利用者にアンケートの記入を依頼 (一般者用4/26~6/30及び10/16~11/13 高齢者用 防災講座等で実施)
回答者数	一般者用(1回目318件、2回目346件 計664件) 高齢者用(154件)
結果	職員の対応等、すべての面で高い評価を得た。素晴らしい施設であり県内の方が多数利用し防災意識を高めてもらいたい。
結果を踏まえた改善事項	これからも利用者の意見に耳を傾け、よりよい解説に心掛けてもらいたい。

② その他利用者の声を反映させる取組み

ホームページ、電話、メール等で利用者意見を受け付けている。

③ 主な苦情と対応

昨年要望のあった音量の調整や解説員の年齢層にあわせた説明を実施した結果、高評価を得た。

(5) 個人情報保護の取組み

全職員に個人情報の保護に努めており、適切に図られている。

(6) 関係団体との連携

近隣施設とパンフレットを相互に設置し、来館促進に努めている。また、イタイイタイ病資料館連携無料バスを運行している。

(7) 施設・設備の維持管理

建物及び付属設備の不具合には、消防課又は広域消防防災センターと連携を取りながら適切に対処するなど適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

体験型の学習施設であり危険の無いよう楽しく学んでいただくように表示している。また解説員にも危険の無いよう常に注意を払っている。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	4
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・ツイッターやインスタグラム等のSNSの活用やYouTube等での配信を利用し、より多くの県民に四季防災館を知ってもらう機会を創出する。
- ・より多くの施設との連携協力を実施する等のPRを積極的に行う。